

教育目標		1. 人権尊重の精神を基調として、規律と責任を重んじ、喜びや悲しみを共有できる生徒を育成 2. 自主・自立的な姿勢や態度を研ぎ、高い志を持って学業のみならず、全てのことに全力を尽くす生徒を育成。 3. 文化・スポーツ活動に積極的に参加し、組織の一員であることを自覚するとともに、自己の可能性を最大限に発揮する実行力のある生徒を育成 4. ユネスコスクールとして、ESD(持続可能な開発のための教育)を推進するとともに、地域と協働し、「地域と共にある学校づくり」を目指し、社会に貢献できる生徒を育成 5. 英語教育に力を注ぎ、英語検定合格の実績を出す。また合格により、生徒に「自信」を呼び起こす教育を実践				
部	評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果	成果と課題 (評価結果の分析)	改善方策等
総務部	校務分掌間の連携と学校を取り巻く団体等との関係構築の強化	式典の厳格化と「学校生活のしおり」の充実	・式典における丁寧な実施計画策定と生徒の式典に対する意識付けの徹底 ・「学校生活のしおり」を通しての丁寧な情報配信			
		校務分掌間の連携強化	・校務分掌間の報告・連絡・相談の徹底と連携強化			
		育英会・同窓会・近隣地域等との連携強化	・学校を支えている各種団体・組織との連携 ・地域と関わることで、より良い教育環境の構築化促進			
教務部	本校の教育目標に基づく教育活動の円滑な運営	教育課程の検証	・編成した教育課程の修正や改善についての検証			
		授業改善	・主体的・対話的で深い学びの実現及びESDの視点に立った教育に向けての授業改善 ・上記の実現に向けた校内外での研修の推奨及び情報の共有 ・ICTを活用した授業実践の推進			
		指導と評価の一体化を目指した評価方法の充実	・学習評価を通じた学習指導の在り方の見直しや個に応じた指導の充実 ・きめ細かな指導の充実や生徒一人一人の学習の確実な定着 ・学習指導要領に示す目標に準拠した評価や観点別学習状況の評価の確実な実施			
進路指導部	最高・最適な進路保障の実現	キャリア教育の充実	・連携大学との密接な関係を利用した高大接続の実現 ・各コースの状況に応じた進路行事の策定			
		保護者との連携強化	・各種説明会(進路ガイダンス・出願説明会等)の充実 ・保護者向け説明会・講演会の充実			
		管理体制の強化	・各コースとの連携強化 ・授業内容や朝学習の精査及び模試分析			
生徒指導部	励ましあい、競い合い、高め合う心をもつ生徒を育成するための適切な指導と支援	生徒の自己実現に向けた自己指導能力の育成と安心安全な学校生活への支援を充実	・基本的な生活習慣・自己規律の確立とモラル・規範意識の醸成 ・生徒の実態を把握し、情報共有・共通理解を図り、有効な指導の展開 ・携帯電話、SNSの利用に関する啓発活動の充実 ・保護者や関係諸機関との連携強化			
		いじめのない学校づくり	・いじめ防止基本方針に基づく迅速かつ適切な情報共有の徹底 ・いじめ防止対策委員会を中心とした未然防止・早期発見・早期対応のための組織的な取り組み ・いじめに関する研修の充実			
		生徒のやる気を喚起し、主体性を育むと共に、生徒が主体となった生徒会活動を展開	・現行の規定・ルールの見直し ・積極的な地域社会との係わりを推進 ・生徒会活動活性化へ向けた体制の構築 ・他校の生徒会活動との協働および情報収集の推進			
国際文化部	多様な価値観を受け入れ、理解しようとする心と課題解決に挑む行動力を育む教育活動の実現	グローバル教育事業の推進	・国内外の他校との交流事業の実施 ・教職員・保護者・生徒に向けた講演会や研修の実施 ・多様な文化的背景を持つ子どもたちの受け入れ体制の検討 ・長短期留学・海外研修の充実 ・海外連携校・姉妹校の拡大と交流 ・留学生の受け入れ			
		ESD・ユネスコスクールの実践と修学旅行の提案、ボランティア活動	・ESDのカリキュラムの検討と実践 ・ユネスコスクール・キャンディデート校としての実践 ・修学旅行の行程等の提案 ・社会貢献活動の充実			
		生徒主体となる文化活動の展開、芸術活動の促進	・文化部の活動実態の把握と活動の場の拡大 ・文化行事(芸術鑑賞)や年中行事等の充実 ・校内における芸術活動の企画と実施			
		図書館運営・刊行	・図書館のさらなる充実とその教育的利用の実践 ・図書委員会の運営 ・卒業文集(作文集)の編集と発行			
保健安全部	『命の教育』を意識した講演会や研修会の計画・運営	生徒の実態把握と、『心友』作りに繋がるような指導展開	・教育相談および職員研修の充実 ・生徒が主体的に考え取り組むことのできる保健指導の実践や啓発			
		環境整備の徹底と美化意識の醸成	・環境美化について生徒が主体的に考え行動できる指導の実践や啓発			
		学校安全体制及び学校防犯・防災基盤の確立	・講習会・避難訓練を通して生徒の防災意識を醸成 ・緊急時に正しい判断と行動が取れる生徒の育成			
		生徒の主体性を引き出す体育活動の企画を進め、学校生活の活性化	・体育委員会を中心とした体育行事の企画・運営 ・運動部が誇りとやりがいをもって取り組み、活力ある学校生活の推進			
入試広報部	奈良育英ブランドイメージの向上と安定した入学生の獲得	奈良育英ブランドイメージの向上	・学業・部活動における生徒の活躍を積極的に発信 ・在校生及びその保護者の満足度向上			
		定員充足率100%	・(高校入試)各コースにおける定員の充足 ・(中学入試)行事参加者、及び受験者実数の対前年増加			
		広報活動の促進	・新たな手法での広報活動の推進。 ・生徒主体で学校の魅力を発信できる体制作りの推進。 ・校内における研修会の実施			

学校自己評価(4段階評価) A:達成度が高い B:概ね達成している C:課題を残している D:速やかな改善が必要である